



友学園、原田恒徳代表に聞く

自分の可能性を生かす塾

能力の気付きを大切に
塾にも進学塾、補習塾といろいろと設立モットー

はあるが、原田恒徳代表は「すべての生徒さんが自分の可能性に気付き、それを生かすことを目標にしている塾です」と答えていた。という。

この信念を裏付けてい
るが、原田代表が学生時代に出合った言葉だった。
「どんな能力を与えられた
のかは自分がどうこうでき
る問題ではない。しか

し、与えられた能力を発見
し、それを生かして幸福へ
と導くのは自分の問題で
ある」

友学園には上位校を目指す生徒からそうでない生徒まで幅広く通っている塾で、机に向かう習慣

「前向きな気持ち」「机の5つ」。この力の差は、同じ努力をしたときの伸びの差によってきます」と、早い時期にその生徒の学ぶ力を最大限に引き上げることに重点を置いている。

イクラスと中堅高校を狙う標準クラスとにクラス分けを行っている。「公立校の入試は5科目。うち英数・国については受験校によって問題が異なる」として「英・数・国」を重点的に教育指導している。

また、20年以上も地域に根差した塾として毎年100人以上の生徒を応援してきた実績もある。保護者の方々からは「勉強とクラブ活動の両立とテスト対策、中学校別対策も充実」と歓迎されている。

「学ぶ力」の育成

そして集団指導で受験がまだ先の小学生に対して大切にしているのが、

最適な授業とクラス分け

高校受験の集団指導では中学2年の夏以降に、難易度の高い高校を狙うハ



塾生の能力を引き出すことに注力する講師の授業

